

- 10月12日[土]～10月14日[月]
薩長土肥連携青少年交流
- 10月15日[火]
白石黄良々選手の世界陸上銅メダル獲得報告
- 10月16日[水]～10月20日[日]
鹿児島県ベトナム大訪問団
- 10月20日[日]
かごしま国体・かごしま大会カウントダウンイベント「燃ゆる感動かごしまスポーツフェスタ2019」
- 10月22日[火]
子ども食堂みんなで応援シンポジウム
- 10月23日[水]
英国ロンドン・カムデン区長来県
- 10月24日[木]
鹿児島県戦没者追悼式
- 10月26日[土]
島津義弘公没後400年特別トークショー
- 11月1日[金]
県民表彰式
- 11月1日[金]～11月3日[日]
焼酎ストリート2019
- 11月1日[金]～11月3日[日]
パリで「かごしまの食」をPR
- 11月6日[水]
在トリニダード・トバゴ日本国大使来庁
- 11月16日[土]
国営肝属中部農業水利事業完工式
- 11月16日[土]
京都賞受賞者鹿児島講演会
- 11月23日[土]
日本遺産「薩摩の武士が生きた町」シンポジウム
- 11月24日[日]
知事と語ろう車座対話(霧島市)

10/15
[火]

白石 黄良々選手の世界陸上銅メダル獲得報告



▲県庁を訪れた白石選手(右:母ひとみさん)

10月5日(土)にカタールドーハで行われた世界陸上競技選手権大会の男子4×100メートルリレーにおいて、出水市出身の白石黄良々選手が見事、銅メダルを獲得しました。

県庁を訪れた白石選手からは、「目標としていた金メダルには届かず悔しかったが、アジア新記録だったことに関しては素直にうれしい。来年の東京オリンピックでは金メダルを取れるように頑張りたい。」との力強い言葉がありました。

三反園知事は、「世界大会でメダルを獲得されたことは県民の誇り。来年は東京オリンピックだけでなく、かごしま国体も開催されるので、鹿児島島の代表として頑張っていたください」と激励しました。



▲銅メダル獲得を報告する白石選手

10/16[水]
10/20[日]

鹿児島県ベトナム大訪問団



▲三反園知事とハイズオン省のグエン・ミン・ヒエン人民評議会議長による連携協定締結(人材や農業技術などの交流が始まる)

本県に多くの人材を送り出しているベトナムとの関係強化を図るため、県や県議会、経済界、県医師会、JANAなど「オール鹿児島」で結成した123名の大訪問団でベトナムを訪問しました。100名を超える規模の訪問団派遣は全国の自治体としては初めてです。

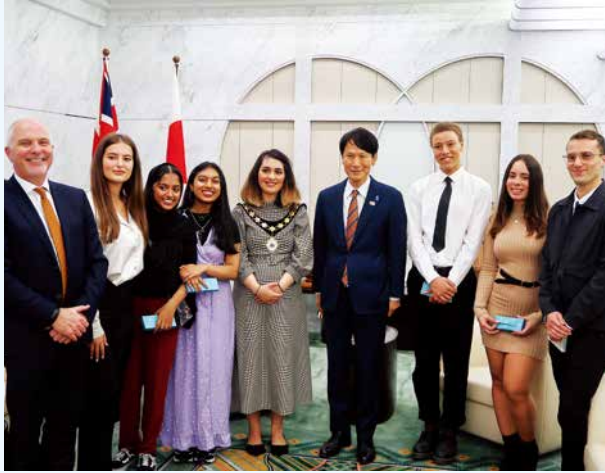
ベトナムでは、ダム副首相立ち会いの下、ハイズオン省と連携協定を締結し、「フック首相との会談では、「今回の大訪問団を高く評価する」との力強い言葉をいただきました。また、ベトジェットエアのフン会長へ定期便の就航を要望するとともに、送り出し機関も視察し、鹿児島への優秀な人材の派遣を要請するなど、大変乗り合い訪問となりました。



▲フック首相との会談

10/23
[水]

英国ロンドン・カムデン区長来県



▲県庁を訪れたマリyam・エスラムドゥースト英国ロンドン・カムデン区長と同区の青少年ら



▲本県高校生との意見交換

明治維新150周年を記念して平成30年7月に友好協定を締結した英国ロンドン・カムデン区のマリyam・エスラムドゥースト区長と、同区の青少年の一行が鹿児島を訪問されました。一行は、県庁への表敬訪問のほか、昨年7月に英国へ派遣した現代の薩摩スチューデントとの意見交換や、学校体験などを行いました。区長からは、「教育が重要で、友好協定を契機とした学生同士の交流が将来に生きてくるだろう」との言葉をいただきました。今後、双方の関係を強化して、鹿児島とロンドン・カムデン区双方の発展につなげていけるよう取り組んでまいります。

11/1
[金]

県民表彰式

知覧町長、南九州市長として、4期14年の長きにわたり、町勢、市勢の発展と住民福祉の向上に努められるとともに、南薩三町合併協議会会長として南九州市誕生に尽力し、本県地方自治の

《地方自治部門》
霜出 勸平さん
〔元 南九州市長〕



前列左から霜出さん、森原さん、三反園知事、鳥丸さん、黒江さん、橋口さん(代理出席)

県では、県民の福祉に貢献し、特に顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民表彰」として表彰しています。本年度の表彰式は11月1日に県議会本会議場で挙行されました。

伸展に貢献されました。
《保健福祉部門》
森原 久樹さん
〔元 鹿児島歯科医師会会長〕

鹿児島歯科医師会会長として、障害者(児)や離島へき地における歯科診療などの提供により、地域や移動困難による格差解消を図るなど、本県の地域歯科保健や公衆衛生事業の充実・発展に貢献されました。
《教育文化スポーツ部門》
鳥丸 卓三さん
〔元 鹿児島県体育協会副会長〕

鹿児島県体育協会副会長として、陸上競技の競技力向上や体育の発展に取り組むとともに、県民体育大会の開催や、ニュースポーツ・野外活動の普及など、本県スポーツの充実・発展に貢献されました。
《くらし・環境部門》
黒江 明男さん
〔元 鹿児島県保護司会連合会会長〕

鹿児島県保護司会連合会会長として、「更生保護サポートセンター」の設置に尽力するとともに、安全で安心な街づくりを目指して啓発活動を行うなど、犯罪や非行の防止と更生保護事業の充実・発展に貢献されました。
《産業経済部門》
橋口 勇吉さん
〔元 鹿児島県川辺仏壇協同組合専務理事〕

経済産業大臣指定伝統的工芸品である川辺仏壇の職人として伝統工芸士に認定され、産地の維持・発展や品質の向上に取り組むとともに、後進の指導にあたるなど、川辺仏壇の振興と仏壇業界の発展に貢献されました。

11/1[金]
11/3[日]

焼酎ストリート2019



▲11月1日の本格焼酎の日に行われた一斉乾杯

鹿児島の本格焼酎の需要拡大を図るため、本格焼酎の日である11月1日から3日間、天文館で「焼酎ストリート2019」が開催されました。

4回目となる本イベントは、鹿児島が誇る全114蔵元の銘柄を味わえる絶好の機会であり、会場は多くの方でにぎわっていました。

期間中は、来場者全員での一斉乾杯や焼酎にゆかりのあるアーティストによるライブなどが行われ、来場者は蔵元のこだわりを聞きながら、個性あふれる焼酎の飲み比べを堪能するなど、「焼酎王国かごしま」に酔いしれる3日間となりました。



▲ゲストによる焼酎トーク

11/1[金]
11/3[日]

パリで「かごしまの食」をPR



▲日本食に関心のある人が多く訪れた会場

11月1日から3日にかけて、パリで開催された日本食PRイベント「セボンル・ジャポン」に、県内事業者とともに鹿児島県ブースを展示し、お茶や焼酎など県産品をPRしました。

本イベントには、和食に関心のある消費者など約1万5千人が来場し、試飲などを通じて「かごしまの食」を体験していただきました。特に、有機抹茶への関心は高く、現地の事業者などから取引についての相談を受けるなど、今後の販路拡大に向けて、大変有意義な機会となりました。

引き続き、EU諸国をはじめ世界のニーズに応えられる産地づくりと販路開拓を進めてまいります。



▲有機抹茶を試飲する来場者

11/16
[土]

国営肝属中部農業水利事業完工式



▲218万立方メートル貯水できる荒瀬ダム(肝付町波見)

国営肝属中部農業水利事業の完工式が、鹿屋市で開催されました。

肝属中部地域では、これまで雨に頼った農業を行っており、農業の生産性向上が課題となっていました。そこで、安定的な農業用水を確保するため、平成9年度から国営かんがい排水事業と附帯の県営事業が実施されてきました。

平成30年3月に水源となる荒瀬ダムが完成し、鹿屋市・肝付町の畑地、約1500ヘクタールへの給水が始まっています。

引き続き、附帯県営事業を推進し、「畑かん営農」による「攻めの農業」が展開されるよう取り組んでまいります。



▲完工式で祝辞を述べる三反園知事